



# ナースだより

静岡市 こども園課

TEL 054-354-2655

2020年 3月号

## 中耳炎



こどもは中耳炎に  
なりやすいよ！

### 1. 急性中耳炎

急性中耳炎は、中耳（鼓膜の内側）が炎症を起こす病気です。

#### ＜症状＞

耳の痛み・発熱・耳閉感（耳がつまった感じ）・耳だれなどです。

乳幼児は痛みをうまく伝えられないことがあります。耳を気にしてよく触っていたり、いつもと違う激しい泣き方をしたり、耳ではなく頭や首などを痛がるなどの様子がみられることがあります。

#### ＜中耳炎にならないために＞

風邪などで鼻水が出る・のどが腫れている・咳や痰が出るなどの状態が長く続くと中耳炎になりやすくなります。

鼻をかむときに力いっぱいかむと、逆に細菌・ウイルスが鼻の奥に入ってしまうので、片方ずつ、優しくかむようにしましょう。

#### ＜気を付けること＞

医師の指示を守ってきちんと治療すれば治りますが、指示通りに薬を飲まなかったり、症状が良くなったと自己判断して治療の途中で薬を飲むのをやめてしまったりすると、中耳炎の再発や滲出性中耳炎などになることがあります。



### 2. 滲出性中耳炎

滲出性中耳炎は、鼓膜の奥にある中耳腔に滲出液が貯まる病気です。

#### ＜症状＞

急性中耳炎と違って、強い痛みや発熱を伴わないのが滲出性中耳炎の特徴です。

その症状には耳閉感・難聴などがあります。

- \* テレビのボリュームが大きい
- \* 呼んでも返事をしない、呼んでも振り向かない
- \* 話をするときの声が大きい
- \* 耳を気にして触っていることが多い
- \* 耳の中でガサガサ音がするという

これらの症状や、気になる仕草があるときは、医師に相談するとよいでしょう。



今年度も残りわずかになりました。

3月は、進級・進学を控えた子どもたちにとって、喜びの反面不安や緊張を感じやすい時期です。

早寝・早起き、排便リズムを整える、朝食を食べる等、生活のリズムを整え、元気に新年度を迎えましょう。

